

## 履修・試験等について

### 1 カリキュラム編成の基本方針

生命の尊厳を守り、個人を尊重し、人々の幸せのために奉仕するという使命感を育み、保健看護に関する科学・技術を統合的に修得します。

また、保健看護専門職には、保健医療機関での対象者のケアという視点のみでなく、栄養、運動、休養など生活全般の改善や環境の保全などの保健の視点と、高齢者・障害者の介護を含めた福祉の視点から人々の暮らしを支えることが重要であることに鑑み、保健・医療・福祉を包括的に学習します。

さらに、科学・技術の進展と社会のニーズに豊かに対応できるための基礎的な学力を備え、自主的な生涯学習の習慣づけができるようにします。

カリキュラムの特徴として、

- ① 教育課程は、「教養と人間学の領域」、「保健看護学の基盤となる領域」及び「保健看護学の専門となる領域」の3領域で構成しています。

「教養と人間学の領域」は、人文学、社会科学、自然科学などの幅広い教養を身につけ、学習意欲にあふれ、倫理的で、思いやりのある、奉仕することをいとわない人材を育て、豊かな人間性及び優れたコミュニケーション能力を育成することを目的としています。

「保健看護学の基盤となる領域」は、保健看護学の土台となる「人間と生命倫理」、「保健と福祉」、「健康と病態」に関する科目群を配置しています。

「保健看護学の専門となる領域」は、人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応し、的確な判断能力と問題解決能力を養うための保健看護の専門科目群を配置しています。

- ② 主体的に学習する能力、問題解決能力、統合能力を養うため、少人数による学習を積極的に取り入れます。
- ③ 予防、診断、治療、看護の過程を臨床の場を活用して、具体的な事例に即して修得します。
- ④ ライフステージの全過程（出生、成長、発育、老化）の学習は、現実の暮らしを通して学ぶために、産院、保育所、小・中学校、企業、老人ホームなどで実習を行います。

### 2 授 業

#### (1) 配当年次

各授業科目の配当年次は、別表1「開設授業科目一覧表」のとおりです。

#### (2) 授業時間

授業時間は、下記のとおりです。ただし、授業によっては変更する場合があります。

授 業 時 限	時 間 帯
1 時 限	8 : 50 ~ 10 : 20
2 時 限	10 : 30 ~ 12 : 00
3 時 限	13 : 00 ~ 14 : 30
4 時 限	14 : 40 ~ 16 : 10
5 時 限	16 : 20 ~ 17 : 50

### 3 履 修

履修しようとする授業科目は、「履修届」により、指定された日までに事務室に届け出なければなりません。届出のない授業科目は、履修することができません。また、届出をした後で履修科目を変更したい場合は、通年および前期科目については4月末日までに、後期科目については10月末日までに事務室に変更を申し出てください。

(「履修届」の控えを必ず保有しておくこと。)

なお、各授業科目の配当年次以外の履修は原則として認めないので、選択科目は、配当された年次に履修できるよう計画を立ててください。

また、授業科目のうち別表2の左欄に掲げる科目の履修については、特に認める場合を除き、当該科目に先立って、同表右欄で指定する科目を修得しなければなりません。

### 4 試 験

#### (1) 試験の方法

試験は、筆答、口答、実技、論文・レポート提出等により行います。

#### (2) 試験の実施時期

試験は、原則として各科目の所定の授業が終了した学期末に期間を定めて行いますが、科目によっては試験期間外に行うことがあります。

#### (3) 受験資格

原則として、履修する科目の授業時間数の3分の2以上出席した者（看護実習については、授業時間の全てに出席した者）でなければ試験を受けることはできません。

#### (4) 追 試 験

病気その他やむを得ない理由により試験を受けられなかった者は、願い出により追試験を受けることができます。

追試験を受けようとする者は、「追試験受験願」に医師の診断書等その理由を証する書類を添えて、指定の期日までに事務室へ提出してください。

#### (5) 再 試 験

試験又は追試験で不合格となった者に対しては、担当教員の判定に基づき、再試験を行うことがあります。

再試験を行うときは、その日時等を事前に学生連絡用掲示板に掲示しますので、再試験を受けようとする者は、指定の期日までに「再試験受験願」を事務室へ提出してください。

#### (6) 受験の際の注意事項

- 1 試験は指定の座席で受験すること。
- 2 携帯品のうち、受験のために必要な筆記用具および許可された物品以外はカバンに入れて足下等に置くこと。
- 3 スマートフォンや携帯電話などは、教室内には持ち込めない。個人ロッカー等に入れておく。
- 4 試験開始30分を経過した後の入室を認めない。
- 5 試験中に試験室外に出ると帰室を認めない。体調不良等、やむを得ない場合は教員の許可を得ること。なお、試験中にトイレに行くことも原則として認めない。
- 6 試験開始後30分間は、教員の許可がない限り退室を認めない。
- 7 受験中は不正行為と疑われるような行為を厳に慎むこと。疑わしい行為を注意した学生には、当該試験の受験を中止し退室を命じることがある。
- 8 受験中に不正行為を行った場合は、当該試験を含め、その期の試験すべてを不合格とする。また、本学学生懲戒規程に基づく懲戒処分（停学・訓告など）を行うことがある。

## 5 成績の評価

授業科目を履修し、その試験に合格した者に所定の単位を与えます。

ただし、「保健看護研究Ⅱ」と「保健看護管理演習」については、別に行う総合評価のための試験の成績評価と併せて単位を与えるものとします。

成績の評価は、100点を満点とし、その評価は、次の基準により行います。

なお、再試験に合格した場合の成績は、60点となります。

評価	成績	判定
優	80点以上	合格
良	70点以上80点未満	
可	60点以上70点未満	
不可	60点未満	不合格

※ 成績の結果は、父母(保証人)の方に送付します。

## 6 卒業要件

本学を卒業するためには、4年以上在学し、必修科目と選択科目を合わせて130単位以上を修得しなければなりません。

《卒業に必要な単位数一覧表・令和3年度以降入学生適用（看護師充実コース）》

授業科目の区分	修得単位数	
	必修	選択
教養と人間学の領域	10単位	15単位以上
保健看護学の基盤となる領域	29単位	1単位以上
保健看護学の専門となる領域	72単位	3単位以上
合計	110単位	20単位以上
	130単位以上	

《卒業に必要な単位数一覧表・令和3年度以降入学生適用（保健師コース）》

授業科目の区分	修得単位数	
	必修	選択
教養と人間学の領域	10単位	15単位以上
保健看護学の基盤となる領域	30単位	—
保健看護学の専門となる領域	80単位	—
合計	120単位	15単位以上
	135単位以上	

※保健師コースについては、「7 保健師コースの選択について」を参照してください。

## 7 保健師コースの選択について

保健師コース選択希望者の募集は、2年次の12月～1月の間に実施します。

保健師コースの選択を希望する場合は、指定された期日までに「保健師コース選択願」を事務室に提出しなければなりません。希望者多数の場合は、必修科目の成績順で選考を行い、選択者を決定します。

なお、保健師コース選択者の決定後の選択希望の辞退は原則として認めないので、留意してください。（その他詳細については、募集時にお知らせします。）

### 【参考】養護教諭2種免許の取得について

養護教諭2種免許については、保健師免許の取得後、住所地の都道府県教育委員会に申請することにより、取得することができますが、この場合、以下の選択科目の履修が必要となりますので、留意してください。

《本学において履修が必要となる選択科目》

番号	選択科目名	単位数	配当年次
①	法学（日本国憲法）	2	1～4年次配当
②	保健・スポーツ	1	1～4年次配当
③	運動健康学	1	2年次配当
④	情報科学	1	1～4年次配当

\*②及び③については、どちらか1科目を履修してください。

（②及び③の2科目とも履修する必要はありません。）



別表1 令和3年度入学生用 開講授業科目一覧表(看護師充実コース)

授 業 科 目		単位数		1~4年次		1年次		2年次		3年次		4年次		備 考
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養と人間学の領域	人間の理解		2	30										選択2単位以上 選択2単位以上 必修1単位・選択2単位以上 必修7単位・選択2単位以上 2必修単位
			2	30										
			2	30										
			2	30										
	社会の理解		2	30										
			2	30										
			2	30										
			2	30										
	科学の理解		2	30										
			2	30										
			2	30										
			2	30										
			1	30										
		1		30			(A)30 (B)30							
	コミュニケーション		1					30						
			1						30					
			1							30				
			1								30			
			2	60										
			1					30						
		1	15											
		1	15									15		
		1												
		2					30							
	2					60								
保健看護学の基盤となる領域	人間と生命倫理		1				15						必修3単位	
			2					30						
			1						15					
			1								15			
			1									15		
	保健と福祉		2								30			必修10単位
			2							30				
			1						15					
			1							15				
			1								15			

左の科目を含め合計25単位以上



別表1 令和3年度入学生用 開講授業科目一覧表(看護師充実コース)

授 業 科 目	単位数		1~4年次		1年次		2年次		3年次		4年次		備 考
	必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
健康障害と保健看護	子どもと健康	2							30				必修7単位
	高齢者と健康	1							30				
	メンタルヘルス学Ⅰ	2					30						
	メンタルヘルス学Ⅱ	1							15				
	リエゾン精神看護学		1									15	
生活と保健看護	生活の場と看護Ⅰ	1				30							
	生活の場と看護Ⅱ	1					15						
	家族と看護	1						30					
	在宅看護論	1							30				
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2					60						
	公衆衛生看護方法論Ⅰ	1						30					
	保健医療経済論		1									15	
保健看護学の専門となる領域 臨地実習	早期体験実習	1			45								
	基礎看護実習Ⅰ	1				45							
	基礎看護実習Ⅱ	2					90						
	保健看護実習A(母性)	2							90				
	保健看護実習B(小児)	2							90				
	保健看護実習C(老年)	3							135				
	保健看護実習D(精神)	2							90				
	慢性期看護実習	3							135				
	急性期看護実習	3							135				
	在宅看護実習	2							90				
	統合実習Ⅰ	2					90						
	統合実習Ⅱ	1										45	
総合保健看護	保健看護管理論	2							30				
	災害看護論	1						15					
	国際保健論	1									15		
	保健看護管理演習	1								30			
	保健看護研究Ⅰ	1							30				
	保健看護研究Ⅱ	3								90			
	保健看護英語		1									15	
	看護教育論		1									15	
	国際交流活動		1	30									
	地域交流活動		1	30									
合 計												130単位以上	

左の科目を含め合計75単位以上

必修7単位

必修24単位

必修9単位



別表1 令和3年度入学生用 開講授業科目一覧表(保健師コース)

授 業 科 目		単位数		1～4年次		1年次		2年次		3年次		4年次		備 考
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養と人間学の領域	人間の理解	こころの科学		2	30									選択2単位以上
		人と倫理		2	30									
		文学		2	30									
		人間と文化		2	30									
	社会の理解	現代の家族問題		2	30									選択2単位以上
		生活の科学と健康		2	30									
		経済学		2		30								
		法学(日本国憲法)		2		30								
	科学の理解	保健看護の物理学		2	30									必修1単位・選択2単位以上
		保健看護の生物学		2	30									
		生命と遺伝		2		30								
		食の科学		2	30									
		食の科学演習		1		30								
		運動の科学	1				30							
		保健・スポーツ		1		30								
	コミュニケーション	英語 I	1				(A)30 (B)30							必修7単位・選択2単位以上
		英語 II	1					30						
		英会話	1				(B)30 (A)30							
		英語 III	1						30					
		英語 IV		1						30				
中国語			2	60										
情報処理演習		1				30								
情報科学			1		15									
感性と芸術			1	15										
医療コミュニケーション			1									15		
ケアマインド教育		2				30								
教養セミナー		2				60							2単位 必修	
保健看護学の基盤となる領域	人間と生命倫理	発達心理学		1			15						必修3単位	
		人間関係論	2					30						
		生命倫理	1					15						
		医療哲学		1								15		
		精神療法(心理療法)		1								15		
	保健と福祉	疫学	2							30				必修11単位
		保健統計学	2						30					
		公衆衛生学	1					15						
		産業保健論	1							15				
		環境保健論	1							15				

左の科目を含め合計25単位以上



別表1 令和3年度入学生用 開講授業科目一覧表(保健師コース)

授 業 科 目	単位数		1~4 年次		1年次		2年次		3年次		4年次		備 考
	必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
健康 障害と 保健 看護	子どもと健康	2							30				必修 10 単位
	高齢者と健康	1							30				
	メンタルヘルス学Ⅰ	2					30						
	メンタルヘルス学Ⅱ	1							15				
	リエゾン精神看護学		1									15	
生活 と 保健 看護	生活の場と看護Ⅰ	1				30							
	生活の場と看護Ⅱ	1					15						
	家族と看護	1						30					
	在宅看護論	1							30				
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2					60						
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	1								30			
	公衆衛生看護方法論Ⅰ	1						30					
	公衆衛生看護方法論Ⅱ	1							30				
	保健医療経済論	1										15	
臨地 実習	早期体験実習	1			45								
	基礎看護実習Ⅰ	1				45							
	基礎看護実習Ⅱ	2					90						
	保健看護実習A(母性)	2								90			
	保健看護実習B(小児)	2								90			
	保健看護実習C(老年)	3								135			
	保健看護実習D(精神)	2								90			
	慢性期看護実習	3								135			
	急性期看護実習	3								135			
	在宅看護実習	2								90			
	統合実習Ⅰ	2					90						
	統合実習Ⅱ	1									45		
	公衆衛生看護実習Ⅰ	2								90			
	公衆衛生看護実習Ⅱ	3									135		
総合 保健 看護	保健看護管理論	2								30			
	災害看護論	1						15					
	国際保健論	1									15		
	保健看護管理演習	1									30		
	保健看護研究Ⅰ	1							30				
	保健看護研究Ⅱ	3								90			
	保健看護英語		1									15	
	看護教育論		1									15	
	国際交流活動		1	30									
	地域交流活動		1	30									
合 計												135単位 以上	

必修  
10  
単位必修  
29  
単位必修  
9  
単位左の科目を含め合計  
80単位以上

授 業 科 目	先修条件として指定する授業科目
保健看護研究Ⅱ	保健看護研究Ⅰ
保健看護実習A（母性）	女性と健康
保健看護実習B（小児）	子どもと健康
保健看護実習C（老年）	終末期看護論、高齢者と健康
保健看護実習D（精神）	メンタルヘルス学Ⅱ
慢性期看護実習 急性期看護実習	慢性期看護論Ⅱ、急性期看護論Ⅱ、終末期看護論
在宅看護実習	在宅看護論
統合実習Ⅱ	保健看護管理論、1年～4年前期までの全実習科目
公衆衛生看護実習	公衆衛生看護方法論Ⅱ

○ 2年次まで配当の必修科目の単位を修得していること。